

科目名	精神看護学演習				分野・必選別・ 単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	4単位
担当教員	◎教授 松澤和正						科目ナンバー	T2C119
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習	
授業の概要	自らの問題意識や研究設問を明らかにすると共に、それらに関する文献検討や議論を通して、研究テーマの明確化と焦点化を行い、研究計画立案へのプロセスを進めることを目的とする。							
授業の到達目標	自らの問題意識や研究設問を明らかにできる。文献検討や議論を通して研究テーマを明確化できる。研究実施の理論的枠組みや方法論を概説・実施できる。以上をまとめて研究計画書を立案できる。							
授業計画	回数	担当者	行動目標					
	<p>【第1回】科目概説 演習の目的、内容、方法、評価について説明できる。</p> <p>【第2回～第3回】問題意識や研究設問の言語化 各自の問題意識や研究設問を言語化し概説・議論できる。</p> <p>【第4回～第16回】文献検討と研究設問・研究テーマの明確化 上記問題意識や研究設問に基づく文献検討を行い、研究テーマの焦点化・明確化ができる。</p> <p>【第17回～第25回】研究テーマのための研究方法論の具体的検討や演習 研究実施のための理論的枠組みや具体的な研究方法論を概説・評価できる。 またそれらを実践可能なレベルにするための演習等を行うことができる。</p> <p>【第26回～第30回】研究計画立案 文献検討、理論的枠組み、研究方法等を再度検討しつつ取りまとめて記述し、研究計画書および倫理審査申請書等の作成準備を行うことができる。</p>							
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	各回の目的・内容を達成するための事前学習と準備を行うこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。						
教科書	必要時適宜提示する。							
参考書	必要時適宜提示する。							
成績評価の方法および基準	レポート評価(文献検討、実践演習等)50%、研究計画書50%で評価する。							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針3と関連していることに留意し授業に取り組むこと。							